

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中野支部
機関紙「みらい」
NO. 4392
23年10月20日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

おはようございます。

第80回長崎地区 区労定期大会

10月14日(土)に第80回長崎地区区労定期大会が長崎地区労会館5F講堂で開催され、支部から山田支部長と向井書記長が代議員として出席しました。

大会は石丸副議長の開会挨拶でスタートし、資格審査報告では大会成立要件である代議員の三分の二以上の出席を確認し、大会が成立していることを報告しました。

議長団には長崎市職労の山中代議員、国保労組の太田代議員が選出されました。大会役員任命、議事日程の確認を行い、小宮地区労議長挨拶へと移りました。

小宮議長は挨拶で「労働者が社会的地位を落としていて、団結することができていない。今大会で職場の課題や報告を行って地域労働運動を盛り上げてもらいたい」と述べられました。



続いての来賓挨拶では米村平和運動センター議長、池田章子長崎市会議員、あいばあつこ県議会議員、西岡秀子衆議院議員の4名からの挨拶がありました。

議事に入り、加世田書記長より第1号議案の提案及び2023年度の活動方針の提案がありました。その後は決算及び会計監査報告があり、休憩を挟み第2号議案の提案がありました。また、第3号議案として「再雇用

に関する規約の「一部変更」の提案がありました。休憩を挟み、議案討論へと入っていきました。

冒頭、県タク問題に関して8年間の闘争支援の御礼が述べられました。討論の中では県教組長西総支部より発言がありました。

「産休などの後補充は確保するが、病休者の後補充は確保できず、校長や教頭が授業に入っている。小学校教諭の教員採用試験の倍率は1.2倍となっていて定員割れに近い状態だ。人事評価制度が導入され、数字におどらされている」などの教育現場の報告がありました。

本部答弁では「職場で人間関係、信頼関係を作ることが重要で、風通しの良い職場をつくっていくために問題提起を続けて、要求していくことが大事だ」と訴えました。

その後、第1号議案、第2号議案共に採択されました。大会はスローガン確認、役員改選、大会宣言採択と続き、議長解任の後、最後は小宮議長長の団結ガンバローで締めくくりました。

10月13日、日本郵便より期間雇用社員から正社員(一般職)への登用に係る一次審査合格者数について本部へ情報提供がありました。

日本郵便の一次試験の合格者数は表の通りで、適性試験免除者を含む全体の応募者数が昨年より1,472人少なくなっています。

合格者数については、適性試験の合格者数は昨年より100名少なくなっています。適性試験免除者を含む最終合格者数も613人少なくなっています。

尚、二次審査の受験者数は、一次審査合格者数に月給制契約社員68人、短時間社員23人を加えた計5,168人となります。

今後のスケジュールですが11月下旬頃までに二次審査を終え、最終合格通知を12月中旬頃に行い、2024年4月1日採用(予定)となります。

正社員登用試験 合格者数について

2023年正社員登用試験一次審査合格者数(人)表の()は昨年の数字

		一次審査合格者			
		応募者数	適正試験合格者数	適性試験免除者数	計
日本郵便(株)	郵便コース	5,606(6,751)	2,265(2,287)	1,931(2,412)	4,263(4,699)
	窓口コース	903(1,230)	336(414)	454(577)	814(991)
計		6,509(7,981)	2,601(2,701)	2,385(2,989)	5,077(5,690)



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員が正社員化を。ゆめが、均等待遇。なつこい差別。ユニオンは労基法裁判に勝利したんや。